

| 科目名                         |  | 自治体行政学特殊講義Ⅰ |        |
|-----------------------------|--|-------------|--------|
| 担当教員                        | 外川伸一   | 科目区分        | 選択必修科目 |
| 開講区分                        | 前期   | 単位数         | 2単位    |
| 曜日時限                        | 月曜・1時限   | 開講年次        | 1年     |
| 到達目標                        | 自治体行政学の主要領域の一部である近年の自治制度変革構想の「本質」を体系的に理解する。  |             |        |
| 授業概要                        | <p>行政学は、政治と行政の「融合」という前提に立って、行政に関する制度・機能とその担い手である公務員集団が行う諸活動を考察する学問である。しかし、自治体行政学は、ここで言う「行政」を「自治体行政」、「公務員集団」を「自治体職員集団」と置き換えれば良いというわけではない。自治体の行政制度・機能は、中央政府が定立する諸法令によって大きく制約されているだけでなく、自治体職員が立案する諸政策案も、国と自治体政府との「融合」関係を無視して行う訳にはいかないからである。また、住民に身近な自治体行政は、自治体政府と住民との相互関係を深く考察しなければ、その本質を捉えることはできないし、自治体政府自体も、他の諸主体や諸領域（例えば、NPO、市場領域）との関係性の変容によって、統治の手法や統治のあり方が変わりつつあるということもある。</p> <p>この特殊講義Ⅰでは、上で抽象的に述べたことに関係するいくつかの主題（特に自治制度の変革に関するもの）を具体的に取り上げ、自治体行政の「いま」と「これから」を見ていくことにする。</p> |             |        |
| 授業計画                        |  |             |        |
| 回数                          | 内容   |             |        |
| 第1回                         | オリエンテーション  |             |        |
| 第2回                         | 地方分権改革とは何であったかー権限移譲と関与の廃止・縮小(1)  |             |        |
| 第3回                         | 地方分権改革とは何であったかー権限移譲と関与の廃止・縮小(2)  |             |        |
| 第4回                         | 「国主導」の「自主的」大合併（平成の大合併）の目的は何か(1)  |             |        |
| 第5回                         | 「国主導」の「自主的」大合併（平成の大合併）の目的は何か(2)  |             |        |
| 第6回                         | 「総合行政主体」とは市町村自己完結主義なのか(1)  |             |        |
| 第7回                         | 「総合行政主体」とは市町村自己完結主義なのか(2)  |             |        |
| 第8回                         | 都道府県の役割はなくなったのかー二層制の意義(1)  |             |        |
| 第9回                         | 都道府県の役割はなくなったのかー二層制の意義(2)  |             |        |
| 第10回                        | 合併から広域連携は方針転換なのか(1)  |             |        |
| 第11回                        | 合併から広域連携は方針転換なのか(2)  |             |        |
| 第12回                        | 道州制は「究極の分権」というのは本当か(1)   |             |        |
| 第13回                        | 道州制は「究極の分権」というのは本当か(2)   |             |        |
| 第14回                        | 国家のリスキューリングとは何か  |             |        |
| 第15回                        | 今までの講義のまとめ   |             |        |
| 準備学習等<br>（課題・予習・復習・調査等）     | それぞれのテーマに入る前に、関連する論文等（主として自治制度関連）のコピーを配布するので、①そのコピーを通読しておくこと、②分からない専門用語等があった場合、自ら調べておくこと、③当該テーマの講義が終了した際には、簡単な問題（レポート用紙1～2枚）を出すので、配布したコピーと講義ノートなどを用いてまとめておくこと（小レポート）。  |             |        |
| 評価方法・基準<br>・講評の方法           | 定期試験（レポート）（50%）、複数回の小レポート（50%）で評価する。<br>各自のレポートの講評については、メール等によって行うことを基本とするが、希望者には研究室で直接説明する。   |             |        |
| テキスト・参考書                    | 教科書は使用しない。<br>講義資料として、それぞれのテーマに関する論文等のコピーをあらかじめ配布する。<br>また、それぞれのテーマに関する参考文献を、その都度、紹介する。  |             |        |
| 前年度の授業を<br>ふまえた今年度<br>の授業方針 | 昨年度のアンケートで好評だったので、昨年と同様に、参加型（双方向型）の講義スタイルをとる。  |             |        |
| 学生への<br>メッセージ               | 上にも記したように、参加型の講義スタイルをとるので、積極的な参加を期待する。   |             |        |

|             |  |
|-------------|--|
| 授業に参考となるサイト | 基本的には、講義の中で紹介するが、総務省の審議会・研究会・委員会の報告書や議事録・資料は重要なものが多いので、総務省のサイトは進んで閲覧してほしい。 |
| 関連する画像      |  |
| その他・備考      |  |